

2022年12月26日

株主各位

第8期定時株主総会事前質問へのご回答

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第8期定時株主総会開催に先立ち、株主総会のライブ中継のウェブサイトにいただきました主なご質問について、下記のとおり回答申し上げます。

記

質問 1	スシロー海外事業における3年後の海外売上高、海外売上比率、国別店舗数、営業利益率について
回答	<p>2021年11月に発表いたしました中期経営計画では、2024年の会計年度末時点での海外売上高900億円、海外売上比率21%、店舗数200店舗前後、営業利益率7.2%としておりました。</p> <p>前期は、中国でのロックダウンなどコロナ禍の影響が各国・地域で残りましたが、前期終了時点での売上高・店舗数はほぼ計画通りの数値であり、営業利益については34億円と当初計画の14億円を143%超過する結果を残しています。</p> <p>従いまして、海外事業に関する中期経営計画の数値目標達成に向けては順調に進捗している状況です。</p> <p>ご質問をいただいている3年後の2025年度における数値目標については、各国のビジネス環境等を踏まえて、しかるべきタイミングで公表させていただきます。</p>
質問 2	社外取締役が当社株式を保有していないことから、当社経営について責任を負っていないのではないかと
回答	<p>社外取締役につきましては、自社株式を保有すべき否かに関し、ご指摘のようなお考えもある一方、独立性の観点から保有をしないほうがよいという考え方もあることから、当社株式を保有するかに関しましては、各取締役のご判断に委ねております。</p>
質問 3	なぜ、株主優待券を廃止したのか?
回答	<p>こちらの質問は、以前、株主総会のお土産として株主の皆様にお渡しをしていた優待券のことをおっしゃっているのかと思います。</p> <p>株主総会のお土産につきましては、株主平等原則の関係から、お越しいただいた株主様だけにお土産をお渡しすることが公平性の観点から適切ではないと考え、</p>

	<p>廃止させていただきました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、株式保有にともなう株主優待券につきましては、現在のところ、廃止の検討はしていません。</p>
--	--

質問 4	<p>当社の、幹部職層における女性の活躍の状況について</p>
回答	<p>2022年の会計年度末における当社の女性取締役は、9名中3名と、3分の1を占めております。また、執行役員は13名中、女性は2名であり、15.4%となっております。</p> <p>管理職は、総数74名中女性が10名と13.5%を占めており、うち、部長級は23名中3名と13%となっております。</p> <p>女性執行役員や女性部長は、コーポレートコミュニケーション・SDGs、品質管理、海外事業、マーケティングリサーチ、法務など幅広い分野で活躍しております。</p> <p>今後とも経営に多様な価値観が反映されるよう性別などにとらわれることなく幅広い見地から女性活躍推進に取り組んでいきたいと考えております。</p>

質問 5	<p>本年6月に、株式会社あきんどスシローが、消費者庁より景品表示法に基づく措置命令を受け、また、同社が本年7月に実施したキャンペーンに関し、一部店舗において当該キャンペーンの告知物の早期掲示および一時完売が生じたことについての再発防止策および今後の信頼回復をどう図っていくのかについて</p>
回答	<p>一連の不適切な告知及びその対応により、お客様をはじめ、株主の皆さま・お取引先さま、多くのステークホルダーの皆さまに多大なるご迷惑をおかけし、大きく信頼を損ねてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。</p> <p>再発防止策として、景品表示法を含む法令遵守強化のため、コンプライアンスポリシー及び行動規範の整備、コンプライアンス研修の実施、キャンペーンのあり方の見直しや広告ガイドラインの再整備、チェック体制の拡充等の対策を講じております。</p> <p>今後の信用回復につきましては、飲食店の基本に立ち返り、ご来店いただいたお客様に喜んでいただけるような店舗運営をしていくことしかないと考えております。</p> <p>その上で重点的に取り組む内容は、主に3点ございます。</p> <p>① キャンペーンの告知・広告の方針の変更</p> <p>販促・広告の表示内容を見直し、お客様に丁寧にご説明するよういたしました。</p> <p>また、品切れが発生しないように十分調達量が確保できる商品のみを広告に表示いたしますが、万一品切れが発生した場合にはお客様にお知らせするよう、ホームページやアプリ、店頭案内のパネル・注文時のタッチパネルに表示するような仕組みを構築しております。</p> <p>② 「お客様に精一杯」をスローガンとした店舗運営</p>

商品の仕上がりにご満足いただけない場合はスタッフに申し付けていただくことを促すポスターを店内に掲示し、お客様にご満足いただく接客を実施して参ります。

③ 教育体制の構築

店舗社員数を増やし、スタッフ教育に充てる時間を確保すると共に、従業員の働き方改革への取り組みを強化いたします。

今後、同様の問題を起こさないために、私たち経営陣はコンプライアンスを重視し、お客様の声にもっと耳を傾け、改善すべき点は徹底的に改善し、これまで以上にお客様から愛されるお店作りを全社一丸となって追求し、お客様の信頼回復に向けて取り組んでまいります。

以上